10
vol.248
広報　縄文村だより vol.248（10月号）

Jomon Times

令和８年10月１日
●編集・発行●
奥松島縄文村歴史資料館
東松島市宮戸字里81-18
TEL　88-3927　FAX　88-3928



木簡の短冊は七夕飾りになりました！



新メニューのミニ土偶・土版つくり。こんなかわいいハニワも♪




硬い貝を割って作るブレスレット作り（左）学芸員と行く貝塚ツアー（右）もありました。



8/8～11
おいでよ、縄文村へ！

毎年恒例の夏休み企画「おいでよ、縄文村へ！」を開催しました。大人気の入館＆体験無料DAYだった 11 日は台風接近のため中止になりましたが、3日間で 236 名の皆さまにご来場いただきました。

夏休み企画でしか体験できない日替わりメニューは、初登場の『ミニ土偶・ミニ土版（どばん）を作ろう！』が大人気！
ほかにも木簡（もっかん）作りやおなじみの勾玉作り、火おこし体験など多くの家族連れでにぎわいました。

夏の思い出は
こちらにものってるよ！

HP　Instagram　Facebook

みじかい夏休み、縄文村で満喫!!

8/23
貝塚の骨を研究しよう！

8 月 23 日､「貝塚の骨を研究しよう！」を開催し、夏休みの自由研究にしたい小学生や学芸員に興味がある学生など 11 名が参加しました。

当館学芸員が博物館での学芸員の役割や遺跡で骨を調べる理由を講義。その後、里浜貝塚をの貝層を水洗選別し、どんなものが貝層に含まれているか調べました。次に、実際に里浜貝塚から出土した骨を使い、イノシシやシカなどの動物たちを判別する「同定（どうてい）」に挑戦しました。標本と比べながら、スケッチや観察結果を記入して学芸員と答え合わせをしました。

参加者の皆さんの知的好奇心が高まり、博物館で研究する「学芸員」のお仕事をちょっぴり体験できた楽しい夏の思い出になりました。



学芸員の仕事は幅広く、細かい仕事もたくさん！


骨はどれだろう…


骨を見ただけで何の動物か分かればあなたも学芸員 !?

11/８㊐は奥松島縄文村まつり！

縄文村の年に一度のおまつりを 11/8 に開催します。縄文体験のほか、ふだんは登場しない特別メニューを鋭意企画中！一日中縄文村を満喫できるおまつりの詳しい内容は来月号で特集します。お楽しみに！

